

R7年度 2学期避難訓練

令和7年12月18日（木）、2学期の「避難訓練」が行われました。

今回は、地震発生後に、給食室から火が出ることを想定しての訓練でした。また、避難の際に「非常階段」を利用する学級があったことも新しい試みです。さらに、上尾消防署の方にも来校をいただき、第3・4学年が「消火器訓練」「けむり体験」を実施していただきました。

先日12月8日に、青森県沖を震源地とする「最高震度6強」の揺れを観測した地震もあったため、緊張感をもちながら訓練にのぞむことができました。



地震発生、すぐに机の下にかくれます。



南校舎の非常階段 今回は北校舎でも非常階段を利用しました



校庭に避難してからは、皆無事か、担任が点呼により確認します。

防災頭巾をかぶり、ハンカチで口を覆い、「おかしもち」を意識して避難します。



無事に避難できたか、しっかりと点呼をして報告します。

校長先生のお話の後には、上尾消防署の方から、今日の訓練の評価と、上尾市内における消防隊の方々の出動回数などについて、お話をいただきました。

日々、出動をされ、市民の命や安全を守って下さっていることがわかりました。



私たちも、火事を起こさない、事故を起こさない、万が一の時は、命を守る時の留意点に気をつけようと改めて考えました。



全体での訓練終了後、3年生が「消火器訓練」、4年生が「けむり体験」を行いました。はじめにそれぞれの場所で説明を聞きます。



消火器は思った以上に重さがあり、また、ホースをしっかりと持たないと、まっすぐに水を出せません。



テントの中は、けむりで真っ白。前が全く見えません。壁を触りながら進むのがコツとのこと。



避難訓練、体験を通して、多くのことを学びました。